

# アグリサポート研究会

## テーマ

アグリ関連分野での持続的成長モデルを追求する

POINT  
01

現地・現場で生きた事例から、  
成長のポイントを研究できる

POINT  
02

収益力の強化、  
事業のスケール化など、  
多様な成功要因を学ぶ

POINT  
03

新しいネットワークを構築し、  
自社の成長戦略につなげる

アグリサポート研究会 テーマ設定の背景

# Background

アグリ関連分野で成長している企業に、共通するポイントとは

昨今、アグリ関連業界では、高齢化が進む農業の現場、増え続ける耕作放棄地など、多くの課題を抱えています。ビジネスは課題を解決してこそ伸びていきます。このような課題をピンチと捉えるのではなく、ビジネス成長のチャンスと捉え、「解決には何が必要か？」を考えていく必要があります。

課題解決の糸口として、3つのポイントが重要になります。

- ①革新(イノベーション)
- ②社会価値(ソーシャル)
- ③持続的成長(サステナブル)

革新

農業界を取り巻く課題の解決、  
社会的な要請への対応

社会価値

新連携  
(海外進出、販路開拓、流通改革)  
新技術  
(機械化、農業技術、IT活用)

持続的  
成長

## アグリサポート研究会のテーマ

# Theme

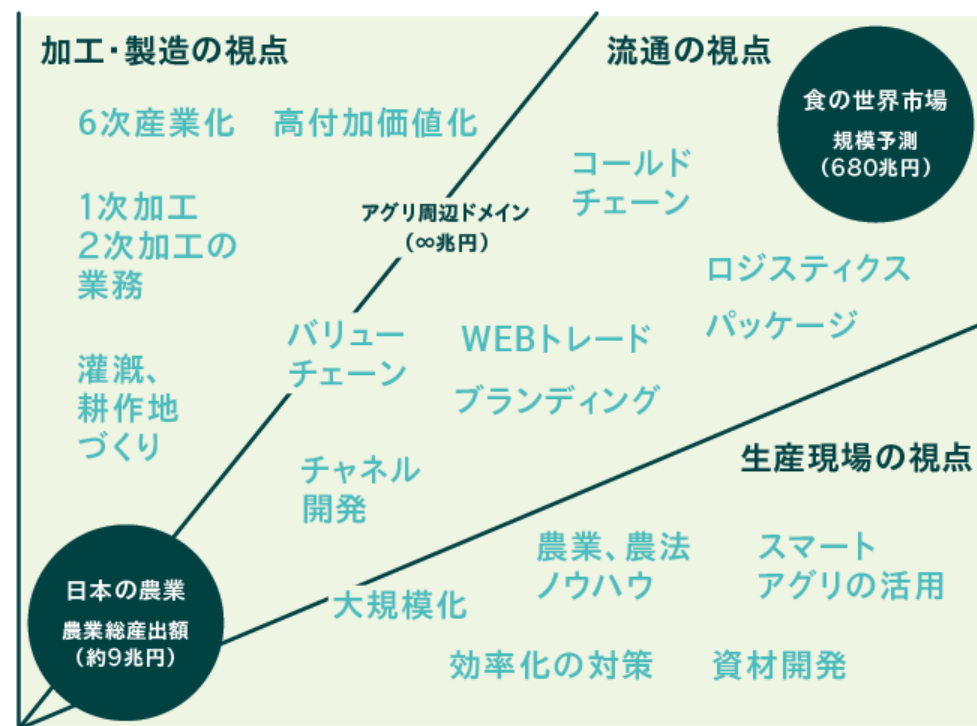
## アグリ関連分野での持続的成長モデルを追求する

アグリ関連ビジネスでは、持続的成長へ向けたイノベーションが進んでいます。

IoT、AIはもちろんのこと、商品・サービス価値を高める6次産業化や、異業種・地方自治体との連携なども進んでおり、当研究会でも参加メンバー同士で積極的な連携に取り組まれています。

成長している企業は、周辺分野(ドメイン)も含めたマーケットまで視点を広げて考えています。自社だけの1社完結型のビジネスは稀で、パートナーとの連携、アライアンスでの成長・発展モデルが必要不可欠。付加価値向上に向けた連携先をつくる事が重要です。

当研究会で全国の先端をゆく企業の現地を視察し、アグリ関連業界の成長へ向けた生きた事例と一緒に学んでいきましょう。



アグリサポート研究会 過去視察先 (1/2)

# Past Company Inspection

全国の先端をゆく企業の現地を視察！

01

小林クリエイト  
静岡県

遊休工場を活用し、  
完全閉鎖型植物工場でレタスの安定生産を実現



03

Kalm角山  
北海道

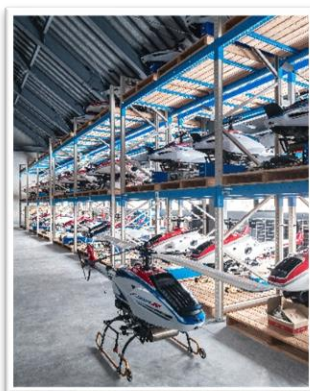
自動搾乳ロボット&データ分析装置を導入し、  
徹底的な「データ化&システム化」を実現



02

サングリン太陽園  
北海道

北海道初の産業用無人ヘリコプターを導入し、  
持続可能なスマート農業を推進



04

トゥリーアンドノーフ  
鳥取県

トラクター部品の改良や菌根菌に注目した科学的視点と  
データを重視した手法で、生産性と効率性を高め、  
徹底的にコストを下げ、労働時間も削減。  
それにより人材も大切にしている



※ 過去の視察先の一部抜粋です  
※ 今期の視察・講演先ではありません

アグリサポート研究会 過去視察先 (2/2)

# Past Company Inspection

全国の先端をゆく企業の現地を視察！

05

JRフルーツパーク仙台あらはま  
宮城県

11品目約190種類の果物と野菜を栽培  
「果物×遊び×復興」で**観光農園**として  
日本最大級規模に



07

コーンズ・エージ  
北海道

13か国から輸入した最新機械を日本国内で展開し、  
酪農現場を近代化させる



06

フローラHD  
三重県

世界50か国以上で愛用される  
「植物を“超”元気にする天然植物活力液」を提供



08

井上誠耕園  
香川県

小豆島でオリーブ生産から  
商品開発・製造加工・販売まで一貫した6次化モデル



※ 過去の視察先の一部抜粋です  
※ 今期の視察・講演先ではありません

アグリサポート研究会 参加者の声

# User's VOICE



**建設業**  
(常務取締役)

常に新しい技術を導入することが時代に取り残されないヒントに。

最先端技術を使用しながらの取り組みが、その地域ならではの事業だなと感じました。常に新しい技術を導入していることが成長企業であり続けるヒントだと思いました。



**畜産業**  
(代表取締役社長)

固定概念のない、常識にとらわれない取り組みを。

異業種から参入した視察先を見て、農業に対する固定概念がないことで、常識にとらわれない取り組みをしていることが参考になりました。懇親会での交流も刺激になりました。



**農業資材業**  
(常務取締役)

大きい夢を持つことと、他との連携の大切さを学びました。

視察先の経営者の話を聞き、大きい夢を持つこと・経常利益10%以上を目指すことについての話がいい刺激になりました。また、各機関と連携して事業を構築していることも勉強になりました。



**建設業**  
(代表取締役社長)

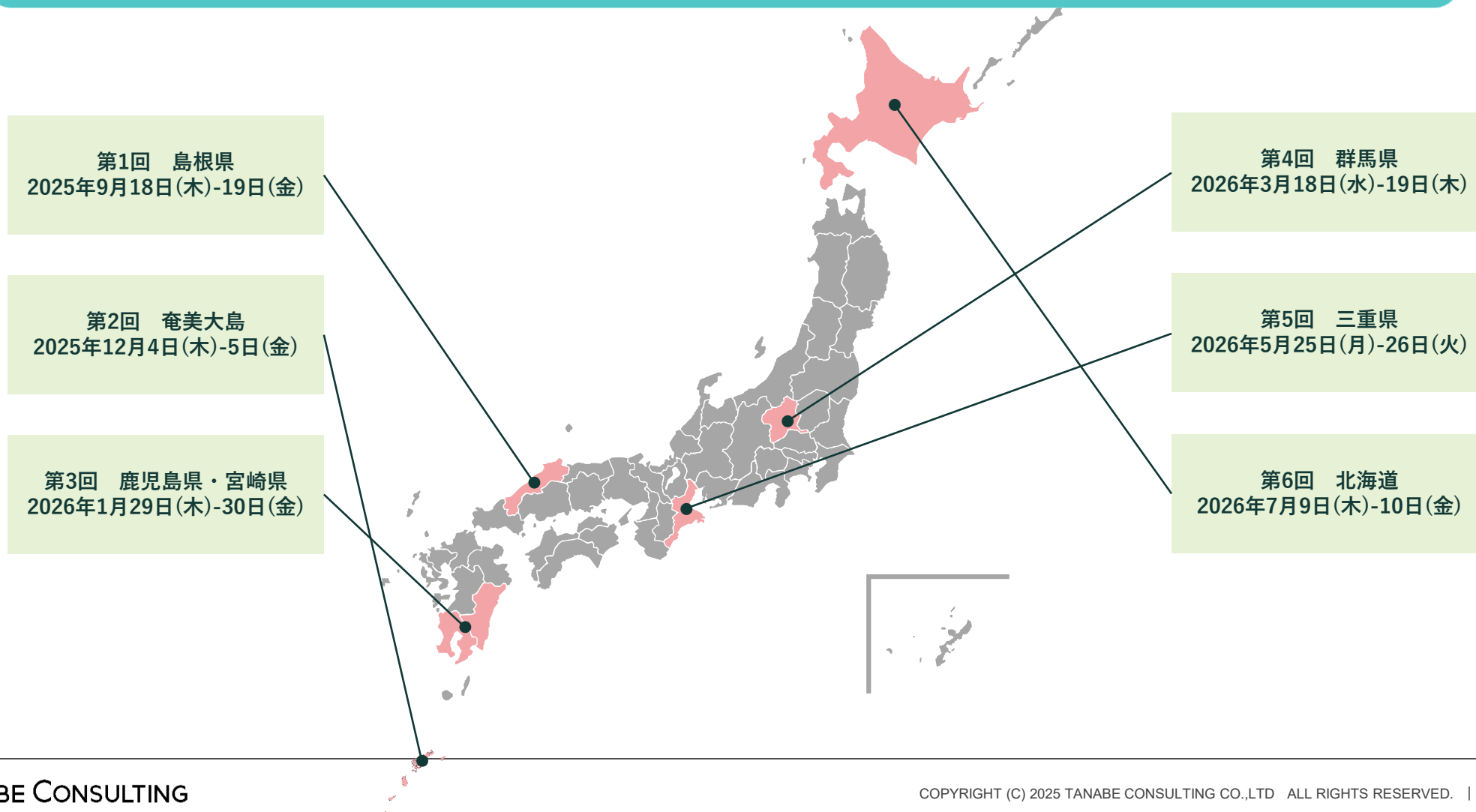
毎回とても勉強になる題材で感動しています。

ゲスト企業の講演で、農業の未来が明るくなっていくことに確信を持ってました。過去最高の研修ではなかったのではないかと振り返っております。いつも学びの多い研修を段取りいただき、感謝します。

アグリサポート研究会 開催日程と場所

# Event dates and places

全国の「現地・現場」を視察し、アグリ関連業界の持続的成長へ向けた先進事例を学ぶ



アグリサポート研究会 リーダー紹介

# Leader Introduction

アグリサポート研究会リーダー 阿部 和也

当研究会では、全国の「現地・現場」を視察し、アグリ関連業界の持続的成長へ向けた先進事例を学びます。アグリ関連ビジネスは、持続的成長へ向けたイノベーションが進んでいます。IoT、AIを活用したスマート農業をはじめ、商品・サービス価値を高める取組みや、異業種・地方自治体との連携なども進んでおり、当研究会でも参加メンバー同士で積極的な連携に取り組んでいます。全国の先端をゆく企業を視察し、皆さまの事業発展の一助となるよう、生きた事例を共に学んでまいります。

## Profile

金融機関にて融資審査や経営改善支援等の担当を経て、当社に入社。「企業は人なり」を信条に、現場力を高める取組みと収益構造を重視したコンサルティングを展開。特に、成長戦略の構築から展開までの実践的なサポートが強み。企業体質を革新する独自のノウハウを活かし幅広く活躍している。

こんな方はぜひ  
ご参加ください

- ✓ アグリ関連分野でビジネス展開している企業
- ✓ 新規事業でアグリ関連分野を検討している企業
- ✓ アグリ関連分野での新しい潮流に関心がある企業



アグリサポート研究会 ゲストご紹介

# Guest Companies

第2回 奄美大島 2025年12月4日(木)



## 合同会社奄美せとうち地域公社

事務局長 植村 翔太 氏

【事業概要】 奄美群島の瀬戸内町が100%出資する地域密着型企業。2025年にJAあまみから譲渡されたきび酢工場を運営し、サトウキビを原料とした年間約20トンのきび酢を生産。加計呂麻島にしかない酵母菌や酢酸菌から作られる「幻」のきび酢はカルシウムやミネラルが豊富で、健康志向の高い消費者から高い支持を得ている。公社化により、ふるさと納税や奄美群島振興交付金の活用がスムーズになり、地域資源を活かした事業展開が可能に。4名の常駐スタッフが品質管理と効率的な生産を支え、地域経済の活性化に貢献。奄美の自然と伝統を次世代に繋ぎ、健康食品市場での競争力を高めている。

奄美の恵みを健康に変える  
知る人ぞ知る「幻の酔」で地域活性化へ



第2回 奄美大島 2025年12月5日(金)

**AMAMI BREWERY**  
奄美麦酒醸造所



## 奄美ビール株式会社

代表取締役 平 泰造 氏

【事業概要】 「豊かなふるさと。いつでも、帰ってこれるふるさと。奄美の誇りを世界に」を理念に掲げ、奄美群島の魅力を世界に発信するクラフトビールを製造。地元で愛される黒糖焼酎に次ぐ新たな挑戦として、世界自然遺産の奄美の地で、轟の滝を源泉としたおいしい水を使用した奄美らしいビールづくりをスタート。島の素材を活かした独自のビールは、地域の特産品「すもも」を使用するなど、奄美の自然と文化を体現。地元での雇用創出や素材のPRにも貢献している。奄美を盛り上げる」という使命のもと、クラフトビールを通じて、奄美の魅力を全国、そして世界へと広げることを目指している企業。出来立てビールを楽しめるよう、工場併設の地ビールレストランも運営。

島の恵みを生かし地域活性化へ  
ビール製造販売を通じて奄美の未来を生産者と共に創造する



アグリサポート研究会 ゲストご紹介

# Guest Companies

第3回 鹿児島・宮崎 2026年1月29日(木)



## 株式会社さかうえ

代表取締役 坂上 隆 氏、本部 富吉 健一 氏

【事業概要】 従業員180名を擁し、農業と畜産を軸に多角的な事業展開で成長を続ける企業。作付け面積200ha、ピーマンハウス10地区計8ha(70ハウス)の規模を誇り、ピーマン、ケール、ナスなどを生産。近年では、耕作放棄地を利用した放牧型の畜産事業を開始し、約160頭飼育をしている。ピーマンの出荷量は日本最大規模となり、生産だけでなく、自社にて包装・梱包業務を実施、流通部門(他生産者からの買付も実施)の強化もすることで、雇用機会の拡大につながり地元経済の活性化に貢献。仕組みづくりや従業員の育成にも力を入れている。

200haの農地で挑む社会課題の解決  
多角経営で地域を活性化



第3回 鹿児島・宮崎 2026年1月30日(金)



## 株式会社くしまアオイファーム

代表取締役社長 奈良迫 洋介 氏

【事業概要】 宮崎県串間市を拠点に、過疎地域から農業の未来を切り拓く農業ベンチャー企業。社員の平均年齢は32歳と若く、外国人含む120名の活力あるメンバーが集結し、さつまいもの生産、加工、販売を一貫して行う。「安心・安全」「おいしい」「安定的で高収益」を実現するため、最新技術を活用した貯蔵庫で品質を保持し、年中安定した出荷体制を構築。日量約20トン以上の出荷能力を誇り、全国へ美味しいさつまいもを届ける。地域活性化にも貢献し、農林水産大臣賞や農業イノベーション大賞2022 など数々の受賞歴を持つ。

若き力で農業を革新  
目指すは世界一のさつまいも総合企業



アグリサポート研究会 ゲストご紹介

# Guest Companies

第4回 群馬 2026年3月18日(水)



## 有限会社エスアンドエム

代表取締役社長 八須賀 松夫 氏

【事業概要】広告業から新規就農で水耕みつばに転換した高収益農業モデルの企業。「みつば」は初期投資がかかるため新規就農が難しいといわれるが、そこを逆手にとった経営戦略を進め大型ハウス6棟(栽培2970㎡、選果場含む3,330㎡)を整備し、大型換気扇×白遮光カーテンを導入することで夏季も安定出荷を実現。販路は契約55%・市場45%で、通年供給を武器に平均単価比1.3倍で取引拡大し一般的なみつば栽培の約3倍の収益性を出すことでほ場3反で年売上12,000万円を達成。自身の病気から働きやすい環境整備にも取り組む。

水耕みつばで単価1.3倍  
夏の安定供給強化で販路拡大へ



第4回 群馬 2026年3月19日(木)



## 株式会社たくみの里

代表取締役 西坂 文秀 氏

【事業概要】道の駅やフルーツランド・モギトーレ等を運営し、東京ドーム約70個分の農村体験を収益化する観光経営を展開。代表・西坂氏は愛媛・JAおちいまぱりで「日本一売れ残りの少ない直売所」をキャッチコピーとした「さいさいきて屋」を運営。売上30億円・年間来訪者120万人という国内最大級規模へ拡大した実績を持つ。2017年に群馬・みなかみ町へ移住、2020年に同社を設立し、コロナ禍の経営危機から施設再建・売上改善を主導。直売所立ち上げ・拡張、道の駅再生、複合施設の運営改善、人材・収益管理の実践ノウハウを紹介する。

道の駅・体験施設を再建  
直売所事例で利益最大化



アグリサポート研究会 ゲストご紹介

# Guest Companies

第5回 三重 2026年5月25日(月)

種兵

TANEHYO

株式会社種兵

代表取締役 田中 宏明 氏



【事業概要】1911年創業、三重・四日市発の“たね屋”として育苗・園芸店・貸農園の三本柱で高収益を実現。鈴鹿山麓の環境下で手間を惜しまぬ育苗に注力し、プロ向け種子・苗と家庭菜園商材を直販。アドバイザー常駐の貸農園で“自産自消”を普及。生産の起点である苗の品質を上げ、定植後の反収を最大化するモデルを確立し、週刊ダイヤモンド「儲かる農業」特集で上位ランクイン。田中社長は育苗コンサルとして「反収は苗で決まる」を掲げ、生産者の歩留まり・単収改善を支援(米卸も開始)。BtoBと直販の両輪で販路と収益を拡大中。

創業115年育苗・園芸・貸農園三本柱  
反収は苗で決まる高収益経営モデル構築



第5回 三重 2026年5月26日(火)

障がい者の自立を支援する

社会福祉法人 朋友

社会福祉法人朋友

理事長 伊藤 良一 氏



【事業概要】2000年に三重県鈴鹿市で創業。自動車部品組立から就労支援を開始し、2010年に農業部門「わか菜の杜」を開所。露地・水耕の両農場で栽培し、カフェ・弁当・パン製造まで展開、2020年にノウフクJAS認証取得。高齢者向け宅配や直販で販路を拡大し、農業・飲食ともに売上UP。農福連携事業では24名が就労、平均工賃53,007円を達成し、栽培・調理・販売から選べる職域で持続的な自立支援モデルを構築した。三重県障がい者就農促進協議会の設立にも尽力し、地域内の直販・事業連携により、農福連携の持続可能なモデルを展開する。

農福連携で売上1.3倍に拡大  
稲作・カフェ・弁当運営で安定収益化



アグリサポート研究会 開催日程と申し込み要項

# Event dates and application requirements

## 開催日時

第1回	島根	2025年	09月18日(木)	・	09月19日(金)
第2回	奄美大島	2025年	12月04日(木)	・	12月05日(金)
第3回	鹿児島・宮崎	2026年	01月29日(木)	・	01月30日(金)
第4回	群馬	2026年	03月18日(水)	・	03月19日(木)
第5回	三重	2026年	05月25日(月)	・	05月26日(火)
第6回	北海道	2026年	07月09日(木)	・	07月10日(金)

開催時間/1日目/午後開始・2日目/午前終了

※日程・開催時間等は変更になる場合がございます。予めご了承ください。

**FCC FORUM**  
ファーストコールカンパニーフォーラム

研究会参加者(全回参加の方のみ)には  
ファーストコールカンパニーフォーラムの  
視聴アカウント付き！

詳細は、弊社ホームページをご参照ください。

## 開催概要

**受講対象** 農業・畜産業、関連業種の経営者・経営幹部など

**定員** 30名様

**会費** お1人様(全6回通し)

**495,000円(税込)**

1名様追加料金(同一企業様) 1回/66,000円(税込) 全6回通し/429,000円(税込)

同一企業内であれば  
お申込みされた方以外の受講もOK！

【申込期限】 各研究会、開催日の1週間前までにお申込みください。

※事情により、お申込みをお受けできない場合がございます。予めご了承ください。

【受講取消】 1. お申込み期限日(第1回開催の1週間前、同一企業様からの追加お申込みの場合は各回開催の1週間前)までの取消につきましては全額返金いたします。

2. お申込み期限日の翌日からの取消につきましては代理受講をお願いいたします。代理受講が不可能の場合は以下の通り取消料を申し受けます。ご了承ください。

① お申込み期限日の翌日から第1回開催日の前日

(同一企業様からの追加お申込みの場合、各回開催日の前日)：会費の40%

② 第1回開催日以降(同一企業様からの追加お申込みの場合、各回開催日当日以降)：会費の全額

**お申込み** ホームページからお申込みください。詳細もこちらからご覧いただけます。

タナベ アグリサポート研究会



| E-mail | [soken-lab@tanabeconsulting.co.jp](mailto:soken-lab@tanabeconsulting.co.jp)



※ 弊社ホームページの研究会参加要項に掲載されている研究会規約をお読みの上、お申込みください。研究会規約 <https://www.tanabeconsulting.co.jp/t/lab> ※研究会の会費には教材費、懇親会費を含みます。交通費・宿泊費は各自手配・ご負担いただけます。※お申込み受付後、ご請求書をお送りいたします。会費の前納をもってお申込みとさせていただきます。※状況により懇親会が実施できない場合がございます。予めご了承ください。※ご希望回のみ参加されるには、必ず他に1名さま以上の全回参加のお申込みが必要です。

【個人情報のお取り扱いについて】タナベコンサルティングでは個人情報の保護に努めております。詳細は弊社ホームページ上に記載の「プライバシーポリシー」(<https://www.tanabeconsulting.co.jp/t/policy.html>)をご覧ください。なお、ご記入いただいたお客様の個人情報は、上記のお申込みに関する確認・連絡、および弊社発行のメールマガジンや商品・サービスのご案内などをお送りする際に利用させていただきます。